

高石市御中

アジアを中心に世界が注目し訪れる

TAKAISHI Art City 構想

～高石市における都市再生とインバウンドビジネス提案～

平成29年2月1日

有限会社PHI

自治体が抱える問題は複雑化の一途をたどり、
大胆な発想、ダイナミックな行動なくして、
都市再生はありません。
都市が抱える課題も解決できません。

高石市の現状、そして未来構想はどのようなものでしょうか。

”健幸、文教都市”を目指している「高石市」

市長よりごあいさつ 平成28年度1月分「新年のご挨拶」より

「子育てするなら高石市へ」「教育のまち高石市」と、市内外に大いにPRし、若年世代の定住促進を図ってまいります。
さらに、そういう新たな子育て世代の流入を図りながら「二、三世代が一緒に住みできるまち」も取り組みたいと考えています。
つまり、子育て世代が定住し、その子供たちが、保育所、幼稚園、中学校、高校と進むならば、その祖父母の世代である、いわゆる団塊の世代の方々にも、「孫と同じまちに住もう」とお声がけしてまいりたいと考えています。それらご年配の方々が、高石市にお住まいになれば、これも本市の特長である、“健幸のまちづくり”、すなわち温水プールのある「スポラたかいし」や総合体育館「カモンたかいし」等のフィットネスジムや健康づくり教室、健康ウォーキングロードを活用した筋力アップにより、健康寿命が延びる取り組みが用意されているわけです。
むろん、その受け皿として、都市再生の取り組みとして導入しました「空き家バンク」制度を活用したり、さらに新築住宅購入を支援すべく、二・三世代同居・近居や子育て世帯の固定資産税の軽減などの取り組みなど、今後ともこれら住宅政策に積極的に取り組んでいきます。

高石市の都市再生
Keyword

多世代

教育・
子育て

健幸

重点目標を決めることで、ぶれない街づくりが行えると言えます。

高石市の掲げるビジョン

国の基本目標	高石市の基本方針 全体像	
地方に仕事をつくり、安心して働けるようにする	人口ビジョンの方向性	総合戦略の基本目標
地方への新しい人の流れをつくる	働きながらも子育てができる環境を整えるとともに、子どもを産み育てやすい環境づくりを進める	1 子どもを産み育てやすい環境を整える
若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶える	いつまでも健幸に過ごし、支え合いのできる地域づくりや安心・安全なまちづくりを進める	2 働きやすい環境を整える
時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	子育て世代や同居近居を望む高齢世代に向けて、文教都市を始めとした魅力のPRや転入のきっかけづくりを進める	3 いつまでも健幸に過ごせる環境を整える
		4 住みたくなる環境を整える

子育てを中心とした基本目標を設定しており、住みたくなる環境を整えています。

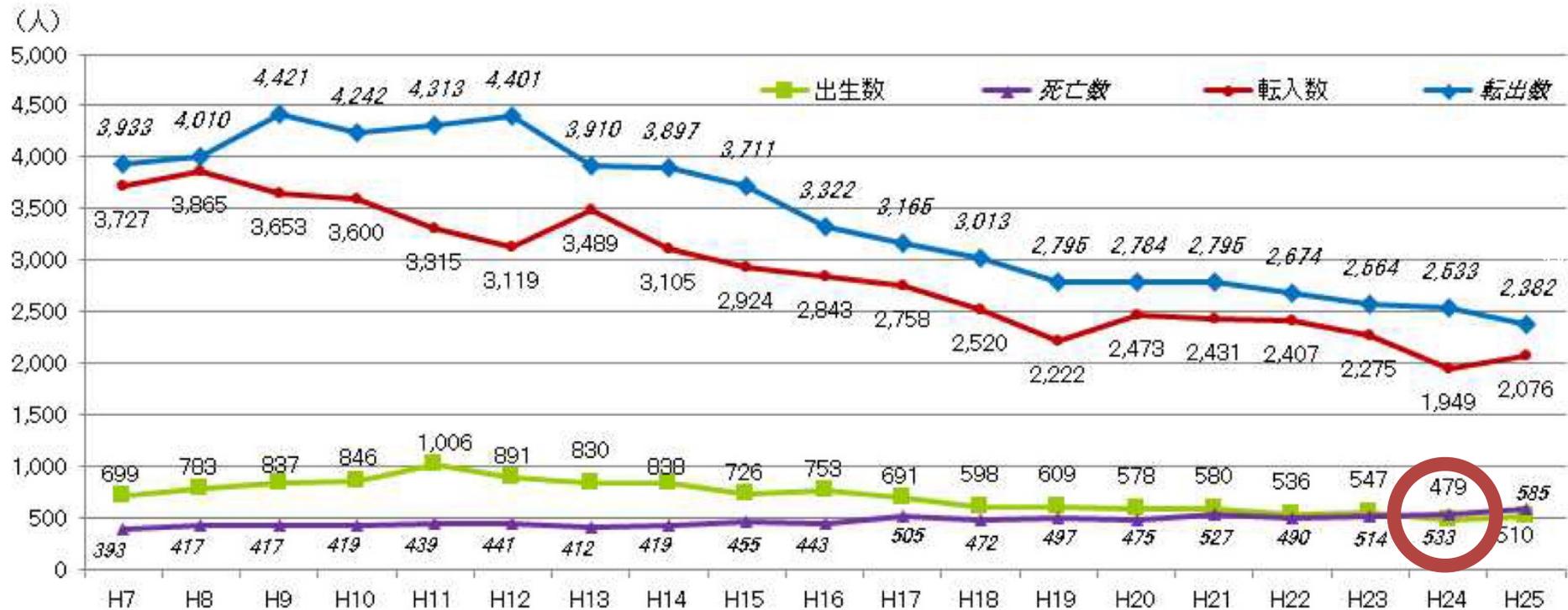
ビジョンを達成させるための基本施策

総合戦略の基本目標		主な施策	
1	<p>子どもを産み育て やすい環境を整える</p> <p>【数値目標】 出生数：20歳から39歳 までの転出者数</p>	<ul style="list-style-type: none">●子育て世代ウェルカムステーションの整備●多子世帯支援●妊産婦検診支援の拡充●子育て包括支援センターの創設による出産・子育ての切れ目のない支援	<ul style="list-style-type: none">●結婚への意識向上●駅前保育ステーションの整備●放課後児童クラブの時間延長●病児保育サービスの整備 <p>など</p>
2	<p>働きやすい環境を整える</p> <p>【数値目標】 市内就業者数、 市内企業従業者数</p>	<ul style="list-style-type: none">●専門性を身につけるための資格習得支援●市内企業と就職希望者のマッチング支援●創業支援●企業立地等促進条例の充実	<ul style="list-style-type: none">●二・三世帯同居近居支援●市内企業従業者への住宅支援 <p>など</p>
3	<p>いつまでも健幸に 過ごせる環境を整える</p> <p>【数値目標】 健康寿命、 医療・介護連携による連携数</p>	<ul style="list-style-type: none">●健幸づくり事業の充実●総合型スポーツクラブの創設●高齢者も暮らしやすいまちづくりの推進●安全・安心なまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none">●住宅医療介護体制の整備●コミュニティカフェの整備 <p>など</p>
4	<p>住みたくなる環境を整える</p> <p>【数値目標】 20歳から39歳までの転入者数、 60歳以上の転入者数</p>	<ul style="list-style-type: none">●教育のICTの推進●少数教育の推進●英語教育の推進●高等教育機関との連携	<ul style="list-style-type: none">●地域活性化ブランド戦略による魅力の発信・発掘の強化●関西国際空港を拠点とした広域的なPRの取組みへの促進 <p>など</p>

現状の課題を解決するための施策を細かく設定しています。

一方で、問題も山積みとなっているのが現状です。

高石市の人口動向分析



出典：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査」

平成24年度以降、出生数と死亡数が逆転、このまま進み続ければ自治体の機能すら維持していくことが困難になる未来がやって来るかもしれません。

高石市が抱える課題と見据えている”目指すべき将来の方向性”

高石市の課題・問題

- 1 出生数が死亡数より下回る**

平成24年度以降、出生数と死亡数が逆転、このまま進み続ければ自治体の機能すら維持していくことが困難になる未来がやって来るかもしれません。
- 2 高齢者が急激に増加**

高齢者も社会を支えていく重要な基盤ではあるものの、自治体を維持していく観点からも、働く世代や子どもを産む世代が重要です。
- 3 20代・30代の転出超過**

人口が減り、まちのにぎわいが減るだけではありません、子どもを産む世代が居ないということは、さらにその次世代が居ないということです。

高石市の方向性

1

子育て環境整備

- ・働きながら子育てができる環境を整える
- ・子どもを産み、育てやすい環境づくりの推進

2

あらゆる世代の健幸

- ・いつまでも健幸に過ごし、支え合える地域づくり
- ・安心、安全のまちづくり

3

文教都市化

- ・子育て世代や同居近居を望む高齢世代に向けて文教都市であることを広くPRし、転入を推進

移住・滞留人口を増加させる必要があります。

果たして

これだけで課題は解決できるのでしょうか？
高石市のビジョンは達成できるのだろうか？

答えは、NOです！

**再生、蘇生に成功した都市は、
どこも、実にユニークで
大胆な発想を、取り入れています。**



失業率40%のフランスのナント市が、アートで蘇る！
フランス人に選ばれる「フランスで最も住みたい街」へ

何も特徴のなかったナント市は、フランスで最も「住みやすい街」へ変貌

名称	フランス ナント市
概要	<p>フランス西海岸、ロワール川下流に位置し、パリから新幹線（TGV）で約2時間の距離にあります。温帯海洋性気候に属し、年間平均気温は12度、年間降水量は820ミリメートルです。</p> <p>ナント市郊外にあるナント・アトランティック国際空港は、西フランスで最も重要な空港として位置づけられており、国内外に数多くの定期航空路線を有しています。</p> <p>市内には、フランスで最も長いLRT（新型路面電車）が走っている他、約60のバス路線があり、市民や観光客の足となっています。</p>
歴史	<ul style="list-style-type: none"> ● 15世紀までフランス王国からの独立を維持していたブルターニュ公の領地の中心として宮廷文化が栄え、1598年の「ナントの勅令」（政教分離法）の地としてもよく知られている。その後は、三角貿易、いわゆる奴隷売買の拠点として繁栄していた。 ● 1970年代に入り、貿易や工業の中心であった港の機能がロワール河河口により近いサン・ナザール市へ移転すると、市内の造船所などは閉鎖に追いこまれ、大量の失業者が市内に溢れ、1980年代、ナント市は厳しい経済状況に直面せざるを得なかった。



経済不況！



失業者続出！

エロー市長が”文化事業”を”都市再生計画の柱”に設定（1989年）

全体の予算の
約15%※を
文化事業へ

文化政策方針

- 1 創作活動を文化政策の中心・原動力とすること
- 2 市民参加の促進
- 3 文化芸術に対する公的支援の必要性
- 4 芸術家が暮らせる街を目指して
- 5 国際的に開かれていることの重要性
- 6 政策評価の必要性
- 7 文化遺産の活用



※日本円で約73億円（2002年度）

いち早くアートを取り入れ、かつ予算をかけ、明確な指針を持つことが成功の鍵だったと言えます。

ナントでは大規模なプロジェクトが多く進行しています。



環境再生を考慮しつつ、文化、観光、レジャー、ウォータースポーツ、レストラン、公園を取り入れた「緑の島」に再生するプロジェクト

名称

イル・ド・ナント（ナント島）

概要

ナント市の都市再生プロジェクトの中心となっているのが、ナント市の中心を流れ、ナント市の歴史、経済、文化と深く関わりあってきたロワール河の中洲にあるナント島で進行中の大規模な再生プロジェクトです。
ナント島には、かつて造船所をはじめとし、多くの工場などが建設され、ナント市の経済の中心地として栄えていた。しかし、産業構造の転換により重工業が衰退し、1980年代には荒廃した地域となっていた。これを取り囲むロワール河も、また、汚染にまみれた川となっていた。そこで、この350ヘクタールものかつてのbrown fieldを、環境再生を考慮しつつ、文化、観光、レジャー、ウォータースポーツ、レストラン、公園を取り入れた「緑の島」に再生するという大規模な試みに挑んでいる。2001年1月から開始され、今後20年という長期にわたるもので、フランス国内でも類を見ない大規模な持続可能な都市再生プロジェクトです。



内容

● Le Lieu Unique（リユー・ユニック）

かつてのビスケット工場を改築し、同市の市民参加型文化政策を具現化し、さまざまな実験的な文化イベントを果敢に実施してきている文化施設

● 三大陸映画祭

アジア、アフリカ、中南米の映画を上映するフェスティバルであり、2003年ですでに第25回を数え、長い歴史があります。これらの大陸はナント市の負の歴史である奴隷貿易の歴史が隠されており、あえてその名前を前面に出すことにより、ポジティブに新たな歴史を作り出しています。

● 「書籍とアート（livre et l'art）」フェスティバル

アート関連の書籍見本市で、毎年開催され、芸術関係の出版社、書店、若者、アーティスト、美術評論家が一堂に会する機会との定評があり、3日間にわたりフランス各地から関係者が集まります。

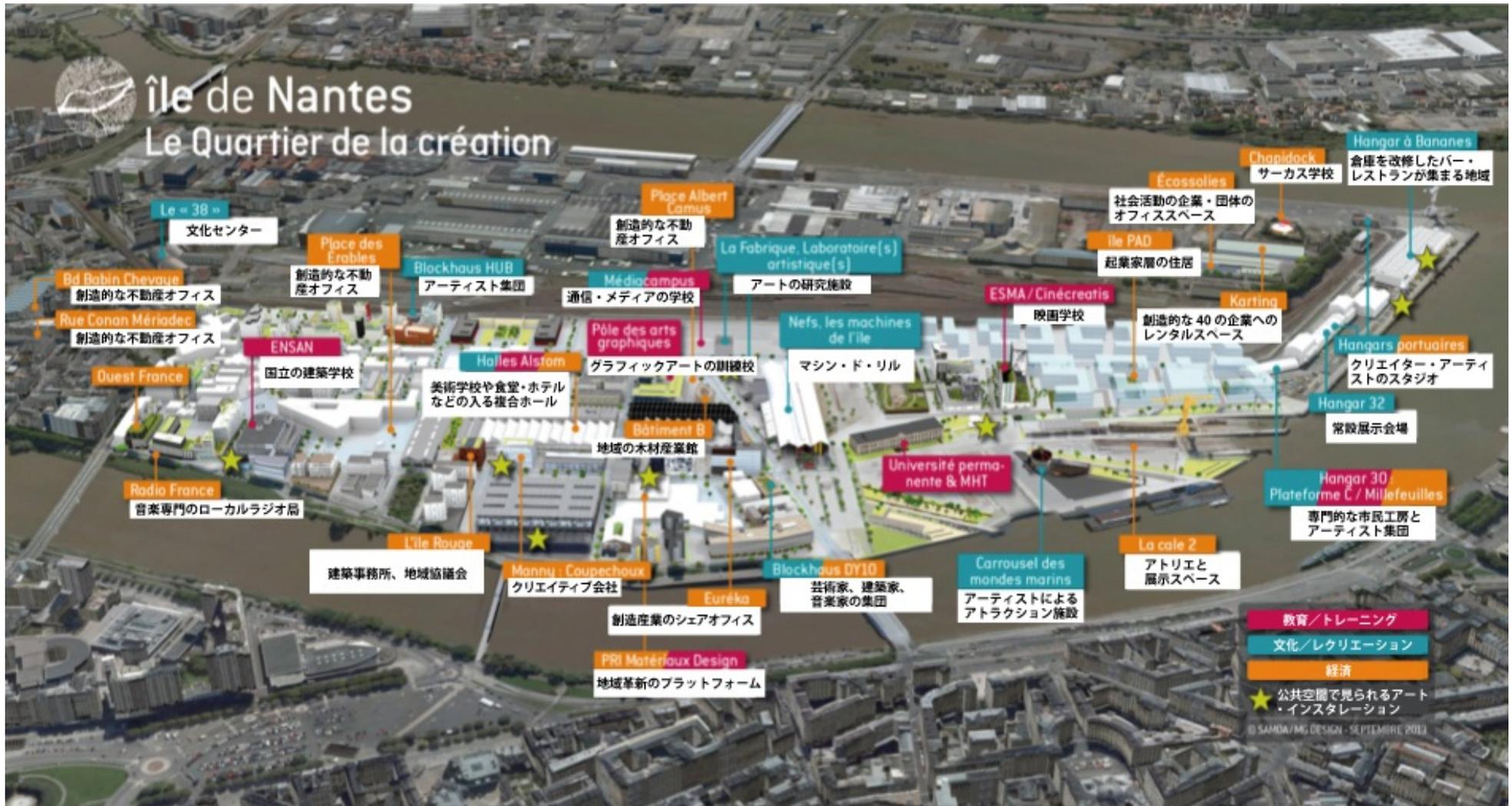
● La Folle Journée（フォル・ジョルネ）

クラシック音楽のフェスティバルであるフォル・ジョルネ（「歓喜の日」の意味）だが、1995年から毎年1月～2月の3日間にわたって開催されている「地域密着型」の音楽祭です。



1980年代サービス産業従事者は人口の67%だったのに対し、
2000年には80%に増加しています。

ナント市 エリアプラン



街全体にアートが溢れ、活気を取り戻し、多くの産業を生み出しています。



北米第二のごみ捨て場であったモントリオール・サンミッシェル地区は、
サーカスで世界の注目が集まるエリアに！

北米第二のごみ捨て場であったモントリオール・サンミッシェル地区は、サーカスで世界の注目が集まるエリアに！

名称	カナダ ケベック州
概要	総面積1,542,056平方キロ、人口約778万人（2009年現在）。カナダの州・準州の中では、面積は又ナプト準州に次いで第2位、人口はオンタリオ州に次いで第2位である。州都はケベック市だが、州最大の都市はモントリオール。モントリオール市はフランス語圏の都市としてはパリ・キンシャサに次ぐ規模の都市であり、北米大陸でも重要な地位を占めています。また、ケベック州の人口の約半分がモントリオール大都市圏に集中しています。。約100カ国からの移民を受け入れており、公用語はフランス語です。
歴史	<ul style="list-style-type: none"> ●1534年にフランス王フランソワ1世の命を受けた探検家、ジャック・カルティエが到達。「ヌーヴェル・フランス」と名付け、フランスによる領有を宣言。その後、イギリスとフランスの間での北米の覇権争いが続いた。18世紀の七年戦争により、ケベックが講和条約でイギリス領となり、1791年にアッパー・カナダ（後のオンタリオ州）とロウアー・カナダ（後のケベック州）に分割された。1867年のカナダ自治領の成立により、ロウアー・カナダ植民地はケベック州となりました。 ●1960年代から「静かな革命」と呼ばれる社会革命運動が始まり、自由党が経済と教育の改革に力を入れ、教育と宗教を分離することで、旧体制を刷新していきました。



サーカスアーツを振興・援助する「en Piste」誕生（1996年）

サーカスアーツシティ計画 ミッション

- 1 モントリオールを国際的なサーカスアーツシティにすること
- 2 北米で第二の規模のゴミ埋め立て地の再開発
- 3 サン・ミッシェル地区の発展に貢献すること



総額
6,300万
ドル※を投じ
サーカスシティ
を建設

※日本円で約53億5500万円（2003年時）

サーカスカンパニーと政府が協力し、
「en Piste」を設立したことが大きな意義を持ちます。

サーカスアーツシティ計画が生み出したのは、素晴らしい芸術だけではありません。



低所得、低学歴層が多く、ゴミ埋め立て地（サン・ミッシェル地区）を変えた、サーカスアーツシティ計画。

1996

● en Piste（サーカスアーツ振興・援助団体）の誕生

シルク・ドゥ・ソレイユなど多くのサーカスカンパニーとケベック州政府やカナダ民族遺産省などの行政が協力し、「en Piste」を設立。

1997～
2003

● 第一期工事 シルク・ドゥ・ソレイユ国際本部増築

シルク・ドゥ・ソレイユ国際本部の二度目の増築工事。シルク・ドゥ・ソレイユが1,800万ドルを投入。また、コスチュームショップを拡張。

● 第二期工事 エコール・ナショナル・ド・シルクの新校舎建設

ケベック州政府の支援により、建設費の予算は2,100万ドルと発表されている。9階建てのガラス張りのビルで、ダンススタジオ、ボディビルトレーニング施設等のほか、空中技専門の特殊トレーニングスタジオを設備。

● 第三期工事 アーティスト居住施設建設

700万ドルを予算としたアーティストのための居住建設。

● 第四期工事 サーカス芸術情報センター等の施設建設

サーカス芸術情報センターと、シャピトーなどの施設を設備。ケベック州の支援により、1,000万ドルを予算。

● 第五期工事 周辺の設備

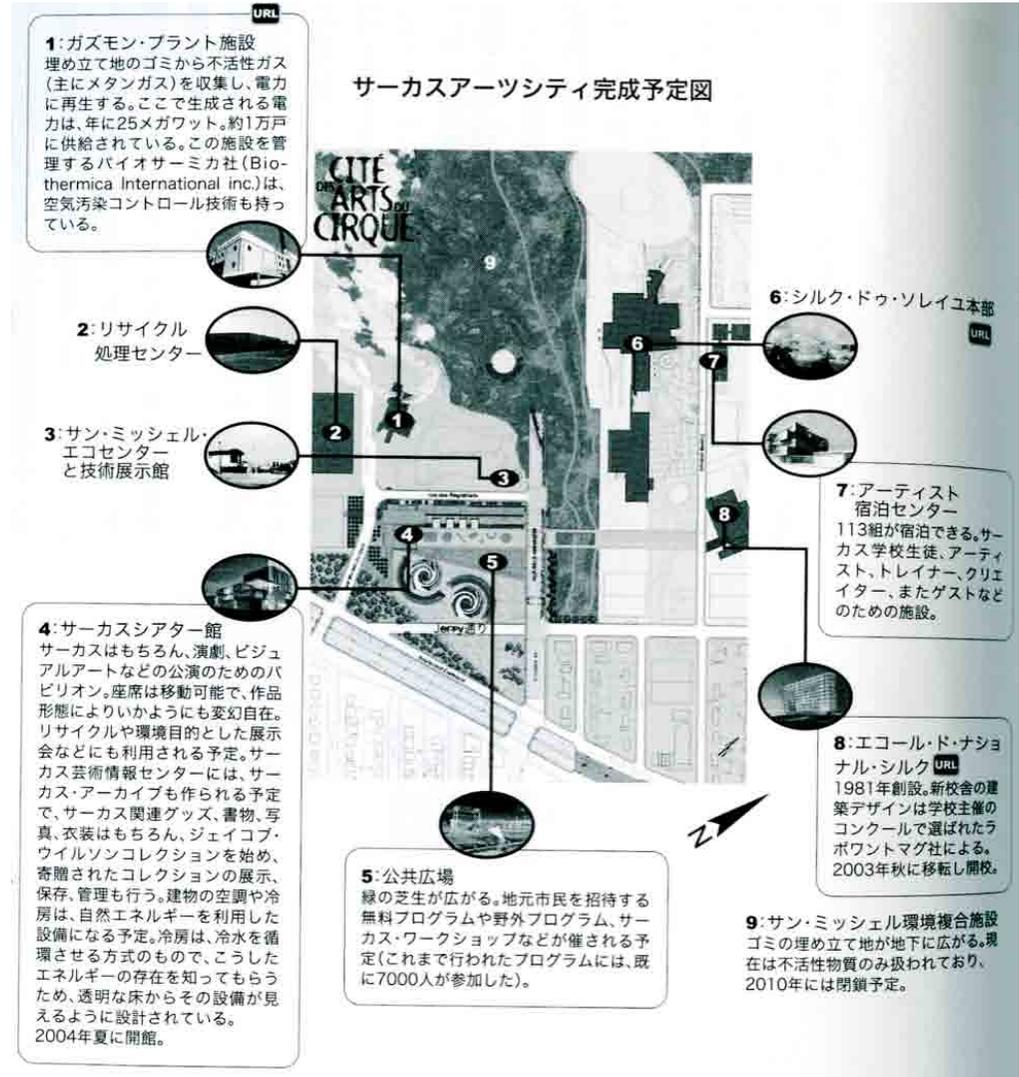
周辺の設備を整え、500万ドルを予算。



サーカスアーツシティ建設を中心として、サーカスだけではなく、芸術文化に関わる施設や舞台に関わる仕事・飲食などのカフェ、バーなどのさまざまな産業クラスターを創出しました。

芸術文化に関わる多くの仕事・雇用を生み出しました。

ケベック州サーカスアーツシティ計画 エリアプラン



**それまで人々が寄り付かなかった場所が
世界でも有数のサーカスシティに生まれ変わったのです。**

果たして、高石市の創造的変革の方向性とは？

ビジョン達成のために何が必要なのか？

1

転出人口を減らし、滞留・移住人口を増やすために

- 新しいシゴトを創出します。
- 自分のシゴトを持った人を増やします。

2

本当の意味での健幸都市であるために

- カラダに加えココロの健康づくりを推進します。

3

文教都市としての魅力度をアップするために

- 次世代にとって必要な教育（表現、多様性。コミュニケーション等）を受けやすい環境に。

4

住みやすさと同時に訪れたいくなるまちになるために

- 楽しく日々過ごせる環境づくりを推進します。
- インバウンドを見据えた新たな魅力を創出します。

芸術文化を通してこれらを達成していきます。

ビジョン達成までの流れ

健幸・文教都市「高石市」



TAKAISHI Art City構想

日本で最初のVarietéの設置

Performing Artistの滞在

海外旅行者、国内旅行者、
地元の大人の興味の的

Performing Art(身体芸術)
体験の日常化

●インバウンド経済効果

- 教育への波及効果
- 創造産業クラスター
- 移住、滞留人口の増加

内の人も外の人も、大人も子どもも楽しめるまちへ

インバウンド効果を獲得しつつ、教育への波及効果を着実に伸ばして行きます。

高石市を関西随一のPerforming Art Cityに

Performing Art City
Variété[Sui]粋の設置

高石市が
日本で最初のVariétéを
設置・運営！

期待できる効果

経済
効果

集客
人気

市場
開発

芸術
振興

上方
文化

独自の
情操教育

新しい
仕事の
創出

心身の
健幸

高石市の話題性・国内外の旅行集客・若者の滞留者、移住者の促進を図ります。

これは、決して無謀な発想ではありません。
現状の高石市が目指している都市のあり方を
もう一步推し進めるだけです。

この取り組みは高石市の未来を大きく変えるでしょう。

TAKAISHI Art City構想は、さまざまな利益をもたらせます。

**1 経済
効果**

アジアを中心とした
富裕層が集まり、
お金を使います。

**2 集客
人気**

日本国内からも
来販者が増えます。

**3 市場
開発**

新たな観光名所
として、世界各地に
宣伝されます。

**4 芸術
振興**

アジア、西洋、日本国内の
アーティスト、
ディレクターの
注目を集めます。

**5 上方
文化**

上方文化再考。
大阪の新しい魅力が
創造されます。

**6 独自の
情操教育**

他の自治体を取り
入っていない教育
を提供できます。

**7 新しい仕事
の創出**

Varietéを中心として
新しい仕事が
生まれます。

**8 心身の
健幸**

アートは心の
健幸にも影響が
あります。

TAKAISHI Art City構想はお金を生み出す
観光資源としての役割と同時に、
上方文化の復権、新しい大阪の魅力創出を果たしていきます。

アジアへ発信する新しいエンターテインメントSPACE「Variété OSAKA SUI」

2003年から実施された「ビジットジャパン事業」や、近年急激に緩和されたビザ発給要件も要因となり、訪日外客数は最高新記録を記録し続けています。大阪でも2014年には年間に約376万人の訪日外客が訪れ、その数字は前年比の43.0%増となっており、連休となればホテルが取りにくいという現状もあります。

では、どのようなお客様が訪日しているのでしょうか。

訪日外客の約8割がアジア人であり、緩和されたビザの影響もあり、中国や台湾、韓国だけではなく、タイやマレーシアからも多くの訪日客が押し寄せています。そして、3,000万人達成を目標に掲げるわが国の政策もあり、2020年に向けてこれからアジア、世界からたくさんの訪日外客が訪れることが予想されます。

その中で、日本が抱えている課題として挙げられるのが、「エンターテインメント」です。

日中は買い物や観光地を訪れ、さまざまな体験をすることができますが、夜になると店舗も締め、行くところ・楽しむところがありません。

世界47ヶ国、2億9000万件以上の口コミ情報を掲載している「トリップアドバイザー」の「行って良かった！外国人に人気の日本観光スポットランキング」では、エンターテインメント系で20位以内にランクインしたのは2014年はたったの1件、2015年ですらも2件しかなく、そのほとんどが寺院などです。

これは、リピーターにも繋がる課題であるかもしれません。

物見遊山の1度見たら満足してしまうコンテンツではいくらたくさんの訪日外客が来ていたとしても、その次に発展しない可能性があります。

そこで私たちが提案したいのが「Variété OSAKA」です。

「Variété（ヴァリエテ）」とは、日本語に直訳すると「寄席」、ドイツにあるお酒や食事を楽しみながら、ダンス、マジック、アクロバット、ジャグリング、サーカスなどが一体となったショーを楽しむことができる伝統的な劇場文化のことです。この大阪版をつくり、アジアの訪日外客を中心に西洋、しかもとりわけ富裕層を集めることを提案します。

私たち一般社団KIOは関西を中心に質の高い演劇作品を創作、公演し、毎年TACT/FEST（大阪国際児童青少年アートフェスティバル）を開催しています。

そして、カフェ運営も行っており、飲食にも精通しています。何よりも、演出家である中立公平、プロデューサーの甲賀雅章がいることにより、

「Variété OSAKA」でのショーの一貫した演出、世界的なアーティストを呼ぶことができるネットワークがあります。

これはどこの企業や団体にも真似ができないことであり、さまざまな提案ができると考えています。

2016年3月
一般社団法人KIO

日本が持つインバウンドビジネスの弱点をカバーし、
訪日外客の関心を大阪に集め
新しい観光経済資源、文化資源に育てていきます。

私たちの実感値よりも多くの外国人が日本を訪れ、その8割がアジアからです。

	2010年	変化倍率	2014年	
訪日外客総数	861万人	約1.6倍	1,341万人	全体の80%!
アジアからの訪日外客数	652万人	約1.6倍	1,081万人	
訪日外客消費総額	11,490億円	約1.8倍	20,278億円	消費総額は2倍以上
中国 訪日総数 (消費総額)	141万2000人 (2,498億円)	約1.7倍	240万9000人 (5,583億円)	
台湾 訪日総数 (消費総額)	126万8000人 (1,318億円)	約2.2倍	282万9000人 (3,544億円)	訪日総数/消費総額も3倍以上
韓国 訪日総数 (消費総額)	243万9000人 (1,973億円)	約1.1倍	275万5000人 (2,090億円)	
米国 訪日総数 (消費総額)	72万7000人 (1,159億円)	約1.2倍	89万1000人 (1,475億円)	
タイ 訪日総数 (消費総額)	21万4000人 (308億円)	約3倍	65万7000人 (960億円)	
大阪における訪日外客総数	235万人	約1.6倍	376万人 (暫定)	
関空 外国人入国者数	175万人	約1.8倍	317万人	

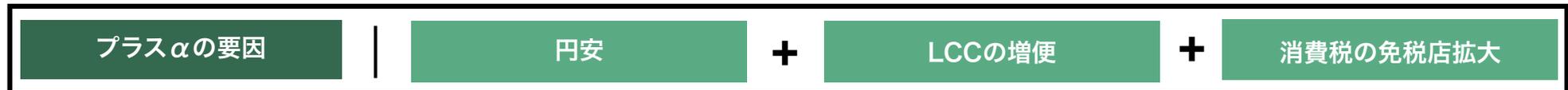
驚くべきことに4年という短期間に2倍近くの数値を記録しています。

※訪日外客数値 日本政府観光局 (JNTO) 統計データ「国籍/月別 訪日外客数 (2003年~2015年)」

※訪日外客消費額数値 国土交通省観光庁 訪日外国人消費動向調査 「平成22年の年間値の推計 (暦年)」・「平成26年の年間値の推計 (暦年)」

※大阪府に関する数値 「大阪府観光客受け入れ環境整備の推進に関する調査検討会議 会議資料」より

日本政府の政策展開とプラスαの要因で訪日外客が増え続けて来ました。



しかし、日本のインバウンドビジネスには多くの課題が残されています。

訪日外客を惹き付けるエンターテインメントSPACEは急務な課題の1つです。

トリップアドバイザー調べ 「行って良かった！外国人に人気の日本観光スポットランキング」		【トリップアドバイザー】530万件以上のホテル、レストラン、観光名所に対して2億9,000万件以上の口コミ情報を掲載しており、世界47か国で利用されている。	
2014	1位 伏見稲荷大社（京都府）	6位 高野山 奥之院（和歌山県）	11位 沖縄美ら海水族館（沖縄県）
	2位 広島平和記念資料館（広島県）	7位 清水寺（京都府）	12位 松本城（長野県）
	3位 厳島神社（広島県）	8位 新宿御苑（東京都）	13位 三十三間堂（京都府）
	4位 金閣寺（京都府）	9位 箱根彫刻の森美術館（神奈川県）	14位 嵐山モンキーパーク（京都府）
	5位 東大寺（奈良県）	10位 成田山 新勝寺（千葉県）	15位 兼六園（石川県）
			16位 ロボットレストラン（東京都）
			17位 二条城（京都府）
			18位 長崎原爆資料館（長崎県）
			19位 森美術館（東京都）
			20位 明治神宮（東京都）

▶ 物見遊山的に訪れるスポットばかりで、エンターテインメント系と呼べるものは1つしかランクインしません。1,341万人もの訪日外客が訪れているというのに、1度行けば満足してしまうような場所がフューチャーされ、これではリピーターにも繋がりません。

1

1度行けば満足してしまう
観光地ばかり

日本の観光スポットランキングにランクインしているのはいずれも1度訪れることができれば満足できてしまう施設・スポットが多くあります。その中で、再度日本に訪れ、リピーターとなってもらえるようなスポットを開発していく必要があります。

2

夜間に楽しめる
スポットがない

観光地は特に夕方に閉まってしまい、夕方～夜間に出かけ、楽しむ場所がほとんどありません。せっかく日本に訪れている外国人をホテルに缶詰めにしてしまうのは、かなりもったいないことだと言え、逆に言えばそこに需要があると考えられます。

3

食やエンターテインメントを
堪能する施設がない

日本の歴史や日本の美意識等を楽しむことができるスポットは多く知られていますが、日本食やエンターテインメントを楽しむことができるようなところは知られていない、もしくはほぼないと言っても過言ではないかもしれません。

特に大阪には存在しない現状、早い参入が大きなビジネスチャンスと言えます。

そこで私たちが提案するのが、アジアの富裕層を中心ターゲットとした大阪の食とエンターテイメントを楽しむことができるSPACEです。

提案POINT

1

最初はアジアを中心とした富裕層がターゲットです。

統計数値からも明らかですが、現在訪日外客の中でアジアが占める割合は圧倒的です。そして中国人を筆頭に消費額も圧倒的なものです。その中で、特にアジアの富裕層にターゲットを絞り展開します。日本政府としても、アジアの富裕層に対してさらなるビザの緩和を進めるなど、今後富裕層がさらに日本に訪日することは間違いありません。そして消費する額もまた他とは異なります。

2

国内外を問わない世界最高峰のパフォーマンスを上方文学をベースに、一つの舞台作品として創作。

世界最高峰のパフォーミングアーツのアーティストを集め、パフォーマンスを行うエンターテイメントのSPACEとします。しかも、他では見られない、しっかり演出されたSUIならではの新しい上方文化作品です。アジアから西洋や欧米に本格的なサーカスなどを観に行こうと思ったら、航空運賃だけで倍以上のお金がかかりますが、買い物や観光に来た日本で世界最高峰のアーティストのパフォーマンス作品を観ることができれば、旅行者にとっても嬉しいことです。

3

パフォーマンスを観ながら日本食・日本酒を堪能することができます。

パフォーマンスを観るだけの劇場ではなく、日本食・日本酒を本格的に楽しみながら観劇することができます。観光庁の「平成26年 年次報告書 訪日外国人の消費動向」にもありますが、「次回したいこと」という項目は「日本食を食べること」56.1%と群を抜いてトップであり、「日本酒を飲むこと」も21.8%の需要があります。世界最高峰のパフォーマンスと美味しい日本食を楽しむことができれば、一石三鳥というわけです。日本食といっても、上方の食文化を中心としたものです。

この今までになかったSPACEを「Varieté OSAKA SUI」と呼びます。

近い将来的には、西洋からの来阪客増加も期待できます。

「Varieté」 (ヴァリエテ) とはドイツの伝統的な劇場のことです。



Varieté

「Varieté (ヴァリエテ)」とは、日本語に直訳すると「寄席」、ドイツにあるお酒や食事を楽しみながら、ダンス、マジック、アクロバット、ジャグリング、サーカスなどが一体となったショーを楽しむことができる伝統的な劇場のことです。基本的には、言葉がわからなくても、無条件に観るだけで楽しめるショーを開催しています。1920年代、文化の黄金時代だったベルリンでは160もの劇場で、ヴァリエテのエンターテインメントショーが繰り広げられていたそうです。

現在は、ベルリンの「ウィンターガルテン」「カメレオン CHAMÄLEON」が世界的に有名で、舞台や音楽に凝った演出があり、ショーによって観ることができる演目は異なりますが、ジャグリングや空中ブランコ等さまざまです。世界中からこれを楽しみに人々が集まります。料金は席やプログラムにもよりますが、30~50ユーロで「ザ・ヨーロッパの素敵な夜」が楽しめます。

▶ 言語や知識に頼らない無条件に観る人が楽しむことができるショーを提供しています。

▶ 単なるアーティストのオムニバスではなく、“ここでしか観ることのできな”プログラム構成です。

▶ お酒や食事を楽しみながらエンターテインメントを堪能できます。

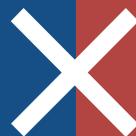
▶ この劇場でパフォーマンスを観るために世界各国から人々が集まります。

私たちはこれに”上方らしさ”をプラスし、提案します。

「Varieté OSAKA SUI」は上方文化の復権を目指します。

「Varieté OSAKA SUI」企画概要

スキルだけを見せるのではなく
あくまでも演出された作品



上方文学



- アーティストごとのオムニバス形式のプログラムではなく、「Varieté OSAKA SUI」でしか観ることのできないオリジナルなショーを創作します。
- エンターテインメント性にアート性を加えた唯一無二のショー構成
- 3ヶ月毎にアーティストと演出を変えていきます。それにより、リピート率のアップを図ります。
- 旅行会社と提携し、着地型観光のコースに組み込みます。

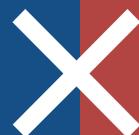
近世社会の仕組みが徐々にその姿をあらわすなかで、都市の多様な生活を描き、生命力にあふれた人間の心情と機微を捉えようとした上方文学。そのなかで大きな足跡を残したのが、浮世草子の井原西鶴、浄瑠璃の近松門左衛門、俳諧の松尾芭蕉の3人であったが、気鋭の演出家「中立公平」が、曾根崎心中や好色一代男、好色五代女、などをベースに現代における新たな上方エンターテインメント作品にチャレンジします。

利益を生むだけでなく、多くの外国人が上方文化の粋を実感する。

「Varieté OSAKA SUI」は日本に、そして世界に例を見ない劇場となります。

「Varieté OSAKA SUI」企画概要

国内外を問わない世界レベルの
アーティストによるショー



上方食文化（美味しい日本食・日本酒）

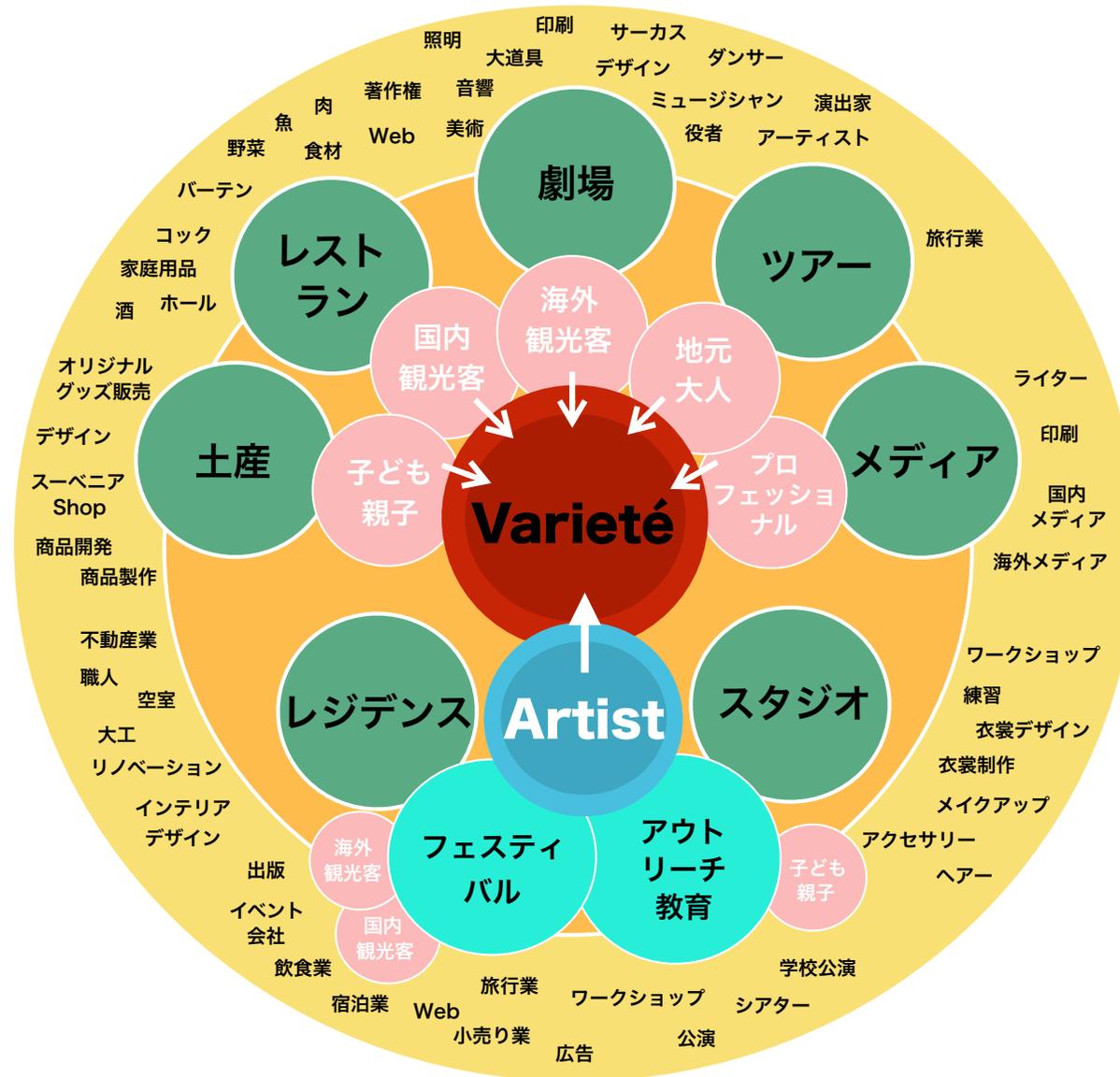


- 日本国内外を問わず、世界レベルで活躍するアーティストが出演します。
- 老若男女、国籍関係なく観に来た人々が楽しむことができるノンバーバル・ショーを提供します。
- このショーに出演することがアーティストにとってステータスとなるようなクオリティの高いショーを約束します。

- 寿司やすき焼きと言った全世界的に知られている日本料理だけではなく、本場大阪だからこそ提供できる上方の日本食を中心に提供します。
- 日本酒だけでなく、ビール、ワインも上方にこだわったモノを提供します。

新しいエンターテインメントSPACEとして大きな話題と利益を生むことでしょう。

Varieteの出現により、新たな産業クラスターが出来上がります。



結果、転入・滞留人口が増えます。

Theory of Change in Takaishi

Impact・Outcome

Performing Artの拠点化を推進することで健幸、文教都市としての魅力を高めると共に、転入人口、交流、滞留人口を増やします。日本で最初のART CITYを運営することで文化芸術が好きな大人、海外観光客が楽しめる国際都市に生まれ変わります。結果、新たな産業のクラスター化が望めます。



着実に段階を踏み、街が豊穡化していきます。

**若手アーティストを継続的に
輩出していくことが必要です。
パフォーマンスアーツの学校をつくることで、
若者の移住・滞留にも大きく貢献します。**

パフォーミングアーツスクールでは日夜若者が技術を磨きます。



学校という媒体で若者の移住・滞留人口も増加します。

**Variétéを中心として自然と高石市には
ミニシアターやクリエイターによる雑貨店
Cafe・Bar などが増えていくでしょう。**

このような景色が高石市でも見ることができるようになるでしょう。



かつての赤線地帯がアートとクリエイティブな人材により一新！
全国から注目を集めるアートとまちが共存するカタチ。

参考事例

神奈川県横浜市中区黄金町

黄金町バザール

概要

横浜市中区の黄金町地区。
かつて「ちよんの間」と呼ばれる違法風俗店がひしめく売春街として知られ、黒澤明監督の映画「天国と地獄」で誘拐犯が覚醒剤を使って殺人事件を起こす“地獄”として描かれた舞台でもあります。ずらりと並んだ薄着の女性が道行く男を誘惑する光景は、おしゃれな横浜のイメージとかけ離れたものだったが、それが変わり始めたのが2005年頃。神奈川県警や周辺住民らの浄化作戦をへて、猥雑な色街は今や「アートの街」へと変貌を遂げつつあります。
クリエイティブな人々がまちに集うことによって、変化しているのです。



コンテンツ

●黄金町バザール

「街」という日常の空間を舞台に、2008年より毎年秋に開催し、国内外のアーティスト、キュレーター、建築家を招聘。開催をきっかけに、若手クリエイターの実験の場として街を開放し、地域コミュニティに新たな可能性が生み出されることを目指しています。

●黄金町芸術学校

2012年5月に開校した黄金町芸術学校は、アートに興味のある人なら、年齢、分野関係なく誰でも受講ができる「コミュニティ学校」で、ものづくりや絵を描くことを楽しむ実技講座から、アートや建築の分野におけるプロフェッショナルへの第一歩となる専門性の高い講座まであります。

●アーティストインレジデンス

国内外のアーティストや工芸家、デザイナー、建築家など、クリエイティブな分野で活動されている人を対象に、アーティスト・イン・レジデンスプログラムを実施しています。

クリエイティブな人々が集うことによって、来街人口が増え、商業活性化します。

**子ども達に対するArt教育は
これから1番重要で必要とされるプログラムです。
自分とは異なるものを認める”多様性”を育みます。**

Artistが子どもたちに関わることで多くのプラスの効果を得られます。

演劇



ダンス



音楽



アートワークショップ



期待できる
効果

- 多様性を認める力を育成（自分とは異なる存在に心を開くのが速くなる）
- 年齢・世代、居住、性別に関係なく時間・空間を共有し、交流する機会を創出

● 表現力の向上

Artを取り入れた高石市独自の教育を実施することができます。

Performing Art Festivalの開催もします。

フェスティバルは

Artistにとっても、高石市にとっても

重要な経済資源です。

多くの集客を見込めるPerforming Arts Festivalを実施できます。



Varieté + Art教育 + Festivalの相乗効果、経済効果が生まれます。

**Performing Art City 実現には
まちのプロデューサー・芸術監督が大切です。**

この二人だからこそ、実現可能な新しいエンターテイメント・プログラム

演出家／中立公平

大阪府立大学大学院経済学研究科、観光・地域創造専攻修士課程修了。

フェスティバル研究者・演出家・俳優・音楽家・コミュニケーションプログラム開発者。

“TACT/FEST”総合芸術監督、アシテジ（国際児童青少年舞台芸術協会）日本センター理事、一般社団法人KIO芸術監督、大阪府市文化審議委員。シアターコミュニケーションラボ特別理事。

都市を活性化する劇場・飲食・フェスティバルプロデュースや地域の社会問題やこどもたちの教育に取り組み、また企業の現場におけるコミュニケーションにおける課題をアート力で解決していく活動やプラスアーツの永田氏と防災演劇のプログラム共同開発などを手がけている。

代表作として、大阪市音楽団との共同制作で手がけたノンバーバルアートパフォーマンス

「ANEMOS-calling for my wind-宮崎駿作品に捧げるオマージュ」「ファウストの恋人」がある。

また、大阪活性化を目指し、国内外のフェスティバルの研究も行っている。

この8月には、なんばパークス7階に、大阪の食材にこだわった、新しいタイプのコミュニケーションスペースをオープンさせた。



プロデューサー／甲賀雅章

ディスプレイ、内装、編集、デザインなどの会社を経て、1991年株式会社シーアイセンターを設立。広義の意味でのデザイン、文化戦略を、21世紀型経営の最重要資源として位置づけ、企業、組合、商店街、地方自治体等の活性化におけるコンサルティング活動を展開。CI戦略、ブランディング、コミュニケーションデザイン、新商品開発、新業態開発、空間プロデュース、イベントプロデュースと、その活動領域は広く、1992年から「大道芸ワールドカップIN静岡」のプロデューサー、2009年ソーシャルデザイン研究所を設立。NPO法人日本ホスピタルクラウン協会副理事長。2011年からは川根本町文化会館の事業パートナーとして劇場の企画運営に携わる。2012年から大阪府江之子島文化芸術創造センターの館長に就任。2012年よりバンコクで開催されるSiam Street Festのプロデューサー、2013年からは「大阪国際児童青少年アートフェスティバル」のプロデューサーに就任。2014年4月からは、一般社団法人「劇団KIO」の執行責任者。最近では、ダンサー、役者としても舞台に立っている。また、2016年7月には瀬戸内でアジアパフォーミングアーツマーケットの開催を準備している。24年間における大道芸ワールドカップの開催を通して世界中のパフォーミングアーティストとのネットワークが構築されている。



高石市のサポート劇団の誘致も必要です。

KIOについて



名称

一般社団法人KIO

概要

住所：〒543-0056 大阪市天王寺区堀越町8-15
吉田ビル2F
電話：06-6772-5471 / FAX：06-6772-5472
メールアドレス：art@thekio.co.jp
ホームページ：http://www.thekio.co.jp/index.html
創立：1971年4月

芸術監督 中立公平
役員 代表理事 落合佳人
理事 甲賀雅章 / 槇雅代

沿革

1971年の創立以来、大阪阿倍野を拠点に創作児童演劇を企画・製作・上演。変わり続け、磨き上げ続ける作品の創造に挑戦し、小中高校での公演活動の他、日本各地の巡回公演、重度の障害を持つ子どもたちの病院、悲惨な事件の現場となってしまった学校、養護施設など、全国津々浦々の場所に向向いての公演活動は、年間100日を超えます。

他方、1996年主宰、2005年に取締役芸術監督に就任した中立公平を中心に、現代に視点を見据えながら、時に空間や時間を駆け回るオリジナル作品の一般公演・劇場公演を意欲的に行っています。近年国際交流にも積極的に取り組み、2002年にはソウルで開催されたアシテジ（国際児童青少年演劇協会）世界大会で「卵をとるのはだあれ？」を上演。2007年にはチュニジアで開催されたネアポリス国際児童演劇フェスティバルに「GREEN MONSTER」が招聘され、好評を博しました。1999年には自社ビルが完成。2000年より貸し館事業を開始。若手劇団を支援するフェスティバルの開催をはじめ、演劇・ダンス・音楽・映画・ワークショップの開催などジャンルを問わず様々な芸術文化活動を通じて地域の文化発展と豊かな市民生活の実現に貢献するよう努力しています。

関西を中心に長年培って来た実績と国内外のネットワークを持っています。

KIOは多くの学校へ訪れ、公演を実施する児童劇団のプロフェッショナルです。

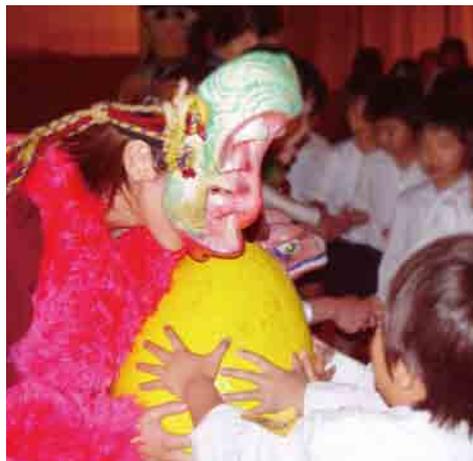
公演実績

【大阪府内】

加茂小学校、高石小学校、高南中学校、取石中学校、高石中学校、桜宮中学校、内代小学校、鷺洲小学校、日東小学校、上町中学校、泉尾東小学校、姫里小学校、十三中学校、瑞光中学校、淀中学校、中本小学校、玉津中学校、御幸森小学校、巽東小学校、中川小学校、大宮西小学校、新森小路小学校、旭高校、城東小学校、鯉江中学校、みどり小学校、鶴見南小学校、金塚小学校、阿倍野小学校、湊小学校、上神谷小学校、浅香山小学校、久世小学校、野田小学校、熊野小学校、英彰小学校、呉服小学校、伏尾台小学校、萱野東小学校、梅坪小学校、南丘小学校、克明小学校、緑地小学校、三島小学校、忍頂時小学校、清水小学校、松原小学校、津之江小学校、玉川小学校、冠小学校、吹田東小学校、豊津第二小学校、江坂大池中学校、山田東中学校、鳥飼小学校、鳥飼北小学校、千里丘小学校、三宅柳田小学校、菅原東小学校、山田小学校、西長尾小学校、殿山第一小学校、杉中学校、長宝寺小学校、池田第二小学校、東小学校、庭窪小学校、八雲東小学校、古川橋小学校、沖小学校、四條畷学園小学校、南郷中学校、住道中学校、若江小学校、中高安小学校、桂小学校、玉手小学校、いぶき野小学校、南池田小学校、中央小学校、旭小学校、西小学校、熊取中央小学校、田尻中学校、佐野台小学校、一丘小学校、福島小学校、天美西小学校、松原西小学校、丹比小学校、布忍小学校、西浦東小学校、白鳥小学校、高鷲南小学校、白鳥小学校、高鷲中学校、四天王寺羽曳丘中学校、藤井寺小学校、道明寺南小学校、磯長小学校、中村小学校、喜志西小学校、伏山台小学校、東條小学校、錦郡小学校、PL学園小学校、千代田小学校、堅下北中学校 など多数

【全国】

大蔵小学校（東京都）、旭丘高等学校（神奈川県）、中能生小学校（新潟県）、田代小学校（鹿児島県）、諸富北小学校（佐賀県）、引田小学校（香川県）、たちばな小学校（愛媛県）、鳴門第一小学校（徳島県）、桜江中学校（島根県）、大内南小学校（山口県）、国府東小学校（鳥取県）、板城西小学校（広島県）、倉敷東小学校（岡山県）、御殿場南小学校（静岡県）、安城北部小学校（愛知県）、大矢知興譲小学校（三重県）、海南下津高等学校（和歌山県）、静里小学校（岐阜県）、和邇小学校（滋賀県）、松井ヶ丘小学校（京都府）、生駒南第二小学校（奈良県）、王子小学校（兵庫県）など



全国津々浦々での公演活動は年間100日を超え、多くの子どもたちに触れています。

Performing Artの拠点化を推進することで
健幸、文教都市としての魅力を高めると共に
転入人口、交流人口を増やします。

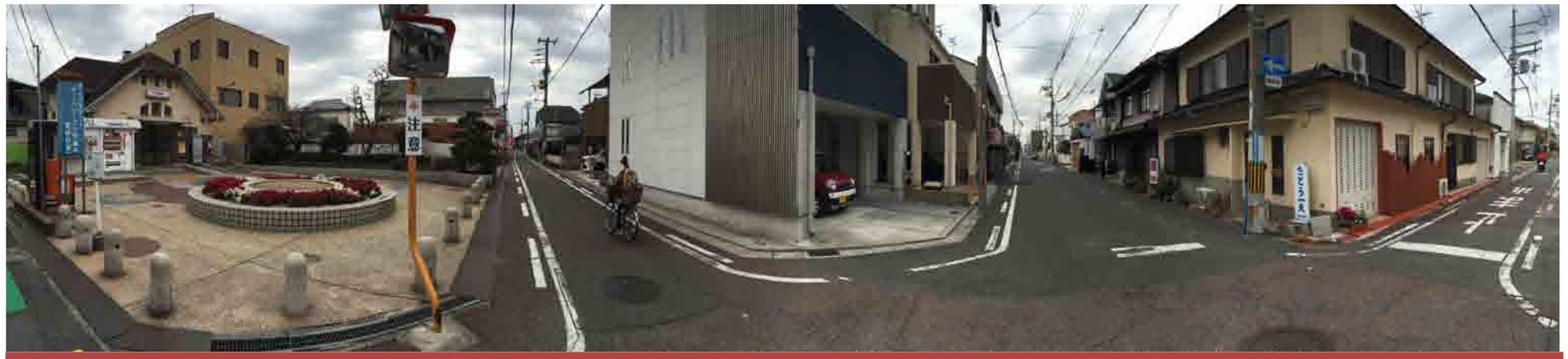
日本で最初のVarieteを運営することで
文化芸術が好きな大人、海外観光客が楽しめる
国際都市に生まれ変わります。

結果、新たな産業のクラスター化が望めます。

高石市は、世界でも類をみない
健幸・文教都市になっていく可能性を持っています。



南海 高師浜駅前の現状



高師浜線活性化に関する提案

- ・この線を利用する顧客は観光客メインではなく、地元客が中心となる可能性が高い。ならば、

当施設を利用することで、南海の施設（例えばなんばパークス等）のポイントが5倍貯まるなど、沿線現有資産を活用する。
